

こども環境学会 2021 年大会（長野）大会プレイベント・国際校庭園庭連合日本支部 2 周年記念企画
ロビン・ムーア教授+ニルダ・コスコ博士 講演会（オンライン限定配信）
「ナチュラル・ラーニング（自然からの学び）：園庭・校庭、子ども、自然」

【日時】2021 年 7 月 1 日（木）19:30～22：00

■講演：

ロビン・ムーア（ノースカロライナ州立大学教授、造園学）

ニルダ・コスコ（ノースカロライナ州立大学准教授、教育心理学）

■話題提供：

大豆生田 啓友（玉川大学 教授、こども環境学会理事、国際校庭園庭連合日本支部顧問）

■パネルディスカッション：

ロビン・ムーア、ニルダ・コスコ、大豆生田 啓友、木下勇

■司会進行：

木下勇（大妻女子大学 教授・千葉大学 名誉教授／フェロー、こども学会理事・副会長、国際校庭園庭 連合日本支部顧問）

仙田考（田園調布学園大学大学院 准教授、こども環境学会代議員・国際委員長、国際校庭園庭連合日本支部代表）

■まとめ：

仙田満（東京工業大学 名誉教授、こども環境学会代表理事、国際校庭園庭連合日本支部顧問）



上段（左から）：ニルダ・コスコ准教授、ロビン・ムーア教授、大豆生田啓友教授、
下段（左から）：仙田考准教授、仙田満代表理事、木下勇教授

<報告>

こども環境学会長野大会イベント及び国際校庭園庭連合日本支部2周年記念企画として、校庭園庭環境の分野で世界的第一人者であるノースカロライナ州立大学のロビン・ムーア教授（造園学）とニルダ・コスコ准教授（教育心理学・造園学）を基調講演者としてお招きし、「ナチュラル・ラーニング（自然からの学び）：園庭・校庭、子ども、自然」と題した講演会・シンポジウムを開催した。

ムーア教授はコスコ准教授とともに2000年に、すべての子どもの日常的な体験の場としての自然環境の重要性の社会的認知を目的として、ノースカロライナ州立大学デザイン学部内に、子どものための環境デザインの実践、支援、教育、研究、広報普及活動を実践する教育研究機関「ナチュラル・ラーニング・イニシアティブ Natural Learning Initiatives (NLI) : <https://naturalearning.org>」を設立、主宰し、校庭園庭等、屋外環境を自然豊かに改善創生するプロジェクトを100以上展開している。本講演でムーア教授、コスコ教授は、NLIでの校庭園庭環境改善プロジェクトをはじめ、子どもたちが学び、あそび、育つ、豊かな校庭園庭環境、特に自然の環境とその在り方について講演を頂いた。

引き続き大豆生田啓友教授（玉川大学）に、日本における園庭環境の現状や今後の可能性について話題提供を頂き、その後木下勇教授（大妻女子大学）、仙田考准教授（田園調布学園大学）をコーディネーターに、ムーア教授、コスコ准教授、大豆生田教授とともにパネルディスカッションを行い、活発な議論から、子どもたちのために、より自然豊かで生態系に配慮した校庭園庭環境を創生していくことの重要性が再認識された。最後に仙田満代表理事から、まとめの言葉を頂いた。

文責：仙田考